

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	石山 文彦		
NAME			

1. 研究課題

(和文) グローバルな正義と文化的多様性

(英文) Cultural Diversity and Global Justice

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

現代正義論のなかでは国内社会における文化的多様性を擁護する多文化主義の有力な理論が存在しているが、現在隆盛を見せつつあるグローバル正義(global justice)の理論においては、グローバルなレベルでの文化的多様性を擁護する有力な議論が見当たらないのが現状である。しかし、多文化主義の理論的基礎に鑑みれば、文化的多様性は、必ずしもすべてに優先させるべき価値ではないものの、グローバルなレベルでも認めるべき価値であると予想される。この点を明らかにすべく、いくつかの現実の多文化社会の文脈に即した多文化主義理論に関する資料を内外の大学・研究所等において収集し、その分析を行った。また、本研究の理論的課題や問題意識の的確性を検証すべく、内外の研究会や学会(「グローバル化時代における法の変容(シンポジウム)」「法哲学社会哲学国際学会連合世界大会」など)で口頭での報告を行うとともに、関心を共有する研究者らと意見交換を行った。以上の結果、人道的介入(humanitarian intervention)や経済格差をめぐるグローバル・ジャスティスの理論のなかに文化的多様性の価値を取り込む余地があり、また取り込むべきであると考えに至った。今後は本研究のまとめとしてこの考えを定式化し、成果として公表する予定である。

(英文)

While theories of multiculturalism argue for the value of cultural diversity within domestic contexts, few theories of global justice have recognized the same value. However, after analyzing the theoretical bases of multiculturalism, this research has concluded that the value of cultural diversity should be accommodated in theories of global justice as well.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>Fumihiko Ishiyama, “Cultural Values and Global Justice,” 26th World Congress of Philosophy of Law and Social Philosophy, held from July 21st to 26th, 2013, at the Campus of the Federal University of Minas Gerais, Belo Horizonte, Brasil</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>